

## I 野菜の概況

### 1 野菜の需給動向

野菜の1人1年当たりの消費量（供給純食料）は近年減少傾向にあり、平成15年度では95.2kg、平成16年度（概算）では92.9kgとなった。

また、野菜の生産量も高齢化の進展等により、減少傾向で推移しており、平成16年度は、特に台風等の気象災害により前年に比べ59万トン減少し、1,229万トンとなった。

一方、野菜の輸入量は、近年増加傾向で推移し、平成16年度の野菜の輸入量は305万トン（生鮮換算ベース）で、前年に比べ108%と増加した。この結果野菜の自給率は、平成15年度は82%、平成16年度（概算）で80%となった。

(1) 平成16年度(概算値)

人口 127,687千人(平成16年10月1日現在)

(単位:断りなき限り1,000トン)

類別・品目別	国内 生産量	外国貿易		在庫の 増減量	国内消費 仕向量	国内消費仕向量の内訳					
		輸入量	輸出量			飼料用 加工用 種子用	減耗量	粗食		純食料	
	総数			1人1年 当たり	総数			1人1年 当たり			
野菜	12,286	3,051	4	0	15,333	0	1,550	13,783	kg 107.9	11,864	kg 92.9
a. 緑黄色野菜	2,645	1,234	1	0	3,878	0	374	3,504	27.4	3,232	25.3
b. その他の野菜	9,641	1,817	3	0	11,455	0	1,176	10,279	80.5	8,632	67.6
野菜	12,286	3,051	4	0	15,333	0	1,550	13,783	107.9	11,864	92.9
1. 果菜類	3,590	1,384	1	0	4,973	0	482	4,491	35.2	3,706	29.0
うち果実的野菜	901	81	0	0	982	0	116	866	6.8	583	4.6
2. 葉茎菜類	5,629	1,068	0	0	6,697	0	834	5,863	45.9	5,108	40.0
3. 根菜類	3,067	599	3	0	3,663	0	234	3,429	26.9	3,050	23.9

資料:農林水産省「食料需給表」

(2) 平成15年度(確定値)

人口 127,619千人(平成15年10月1日現在)

(単位:断りなき限り1,000トン)

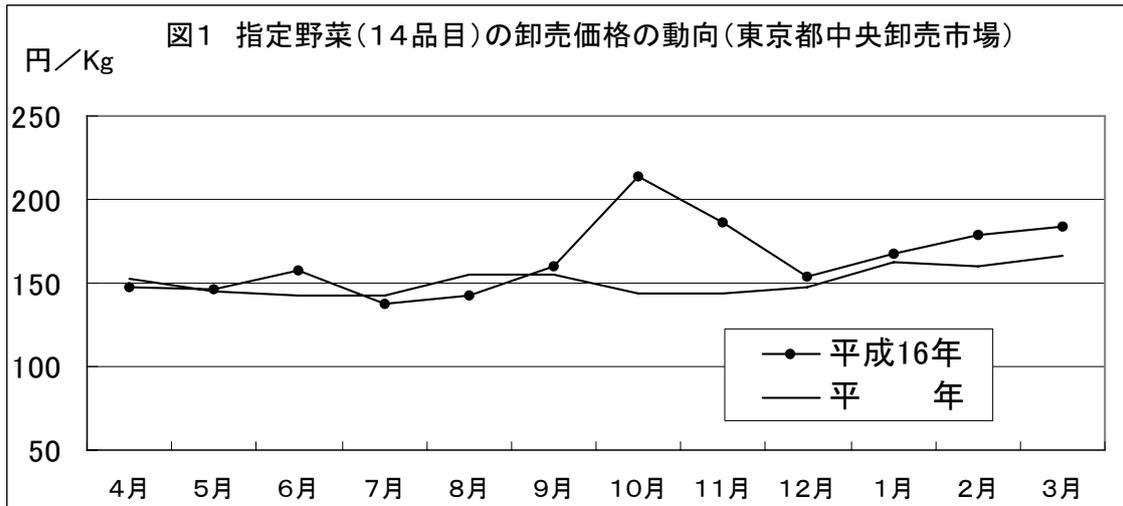
類別・品目別	国内 生産量	外国貿易		在庫の 増減量	国内消費 仕向量	国内消費仕向量の内訳					
		輸入量	輸出量			飼料用 加工用 種子用	減耗量	粗食		純食料	
	総数			1人1年 当たり	総数			1人1年 当たり			
野菜	12,874	2,827	8	0	15,693	0	1,589	14,104	kg 110.5	12,149	kg 95.2
a. 緑黄色野菜	2,724	1,152	3	0	3,873	0	369	3,504	27.5	3,227	25.3
b. その他の野菜	10,150	1,675	5	0	11,820	0	1,220	10,600	83.1	8,922	69.9
野菜	12,874	2,827	8	0	15,693	0	1,589	14,104	110.5	12,149	95.2
1. 果菜類	3,686	1,336	2	0	5,020	0	482	4,538	35.6	3,737	29.3
うち果実的野菜	959	78	0	0	1,037	0	122	915	7.2	613	4.8
2. 葉茎菜類	5,937	936	1	0	6,872	0	862	6,010	47.1	5,249	41.1
3. 根菜類	3,251	555	5	0	3,801	0	245	3,556	27.9	3,163	24.8

資料:農林水産省「食料需給表」

## 2 野菜の価格動向

平成16年度の野菜の価格は、年度前半の4～7月は、おおむね平年並の価格で推移したが、後半は、相次ぐ台風、産地の切り替わる10月に入ってから長雨、日照不足等の影響により、野菜の供給量が不足し、平年を大幅に上回る価格となった。

12月以降17年に入ってから、天候の回復及び暖冬傾向により生育が回復したこと等から、高騰はおさまり、平年をやや上回る価格で推移した。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成16年	148	146	158	138	143	160	214	186	154	167	179	184
平年	153	145	142	143	155	155	144	144	147	162	160	166

資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における野菜の市場別入荷数量及び価格」

注：平年とは、過去5カ年（平成11年度～15年度）の月別価格の平均値である。

### 3 野菜の輸入動向

平成16年度の野菜の輸入量は305万トン（生鮮換算ベース）で、うち生鮮野菜は、14万トンと前年比125%となった。これは、平成16年度の前半は国内の卸売価格が平年並で推移したものの、後半は平年を上回る価格で推移したこと等から、後半の輸入量が71万トン（前年比155%）と増加したことによる。

